



良寛雑記(三) 荒谷雲秀

六月四日、待ちに待った。一見して感心して、良寛の書が着いた。私は、なんだんつま、なるの反

「何う云ふ御用でございませうか」それは今言つて聞かせる

「一人の女に立派な男が六人、お前さんを當所に

夜嵐お絹

「おまねは支度をして二階を下り、おまねや、猿屋町の屯所

「何うしたんでせう、御新造さんを屯所から呼びに

「おまねさん、是から俺はいたが、せ、ラ笑ひ



「おまねさん、是から俺はいたが、せ、ラ笑ひ

「おまねさん、是から俺はいたが、せ、ラ笑ひ

「おまねさん、是から俺はいたが、せ、ラ笑ひ

「おまねさん、是から俺はいたが、せ、ラ笑ひ

産婦人科 井坂醫院 平市田町 電五五九

精神科 福島縣立代用精神病院 郡山脳病院

鈴木醫院 耳鼻咽喉科専門 日本歯科

西村屋藥局 藥品百貨 写真機材の店です

能便 能食 能眠 三ツの口 胃腸強生

腸内・殘敵を掃蕩せよ! 便通のない日があつてはならぬ!

三ツの口 胃腸強生

簡易金融 小口も歓迎いたします

東京・五反田 星製薬株式会社

